



「乳腺外来について」

私の担当する乳腺外来について少し紹介をしたいと思います。

乳房のしこりや痛み、血性分泌物などの症状がある方は、乳腺外来を受診してください。マンモグラフィや超音波検査を行います。必要に応じて、針生検という組織を採取する検査を行うこともあります。当院では乳がんを疑う場合、専門医療機関へ紹介をしています。乳がんの治療は、手術だけでなく化学療法や放射線療法など、症状に合わせて様々な療法を組み合わせる治療が専門医療機関で行われます。そのような集中的な治療が終わり、内分泌療法（経口薬）の処方が必要な場合や経過観察など、当院で対応できる状態の方は戻ってきていただくという専門医療機関との医療連携を行っています。また、乳腺症や線維腺腫など良性乳腺疾患のフォローアップも行います。比企地区の市町村乳がん検診（個別検診）もお受けしていますが、市町村により検診期間など規定が異なりますので、予約時に事務員へご確認ください。期間終了間際は大変混み合いますので、早めの受診をおすすめします。

また私は、坂戸市にあるシャロームにつさい医院（分院）でも月曜午前中に出張し、乳腺外来を行っています。こちらでは、坂戸・鶴ヶ島市の個別乳がん検診の方が多いのですが、坂戸鶴ヶ島地区では個別検診が受けられる医療機関の数が少ないので、ご好評いただいています。

乳腺外来ができてまだ日が浅く、不十分な点が多々ありますが、「シャローム病院を受診してよかった」と言ってもらえるよう努力していきます。皆様のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

シャロームにつさい医院

【住 所】〒350-0258 埼玉県坂戸市
大字北峰 306 番地

【TEL】049-280-7373

【FAX】049-280-7374

【HP】<http://shalorm.or.jp/nissai/index.html>



～当院の検査室と技師・検査概要～



マンモグラフィ検査室と
診療放射線技師

「マンモグラフィ検査」

マンモグラフィとは、乳房専用のX線撮影装置を使用した検査です。乳がんの初期症状である微細な石灰化や、触診ではわかりにくい小さなしこりなどを検出することができます。乳房を圧迫板ではさみ、薄く延ばして撮影します。圧迫時に多少の痛みを伴うことがありますが、診断に必要な良い写真を撮るために重要ですので、ご協力をお願いします。



超音波検査室と臨床検査技師

「超音波検査（エコー検査）」

超音波を対象物にあて、はね返ってくる反射波（エコー）を画像化した検査です。心臓や腹部だけでなく、乳腺の検査にも使用します。乳房表面にゼリーを塗って、その上からプローブと呼ばれるセンサーをあてて乳房内部を映し出します。小さな病変を検出するのに有用ですが、微細石灰化の検出には適していません。

講演

東松山市社会福祉協議会松山支部主催の講演会にて 鋤柄院長が講演をさせていただきました



講演テーマ：「常勤医師全員参加型往診で支える地域包括ケアシステム」
～当院の歩みを振り返って～

3月19日（土）に東松山市社会福祉協議会松山支部主催の講演会にて鋤柄院長が講演をさせていただきました。当院の歴史や地域包括ケアシステムとの関わり等をご紹介し、院長が作詞作曲した、お年寄りを励ます歌も披露しました。当日は多くの方にお越しいただき「非常によい内容だった」「シャローム病院が近くにあったよかった」などのお言葉を頂戴しました。誠にありがとうございました。

大変有難いことに、早々に整理券がなくなり、人数制限により講演会にお越しいただくことができなかつた方々も多くいらっしゃいました。大変申し訳ございませんでした。今後、当院主催の地域の皆様に向けた講演会も企画してまいりますので、是非お越しください。



松山市民活動センター
大会議室



勉強会

緩和ケア病棟開設に向けて、勉強会がスタートしました

【第1回】テーマ 「緩和ケアの定義と理念」

講師 加藤先生（当院緩和ケア内科医師・2階病棟医長）



現在、当院では緩和ケア病棟オープンに向けて、職員が一丸となって準備を進めています。今回の勉強会もその一環として行われました。緩和ケアに関する勉強会は、全9回にわたり行われる予定で、第1回目のテーマは「緩和ケアの定義と理念」でした。

医療従事者だけでなく事務職員やボランティアスタッフも積極的に参加しました。緩和ケアの起源から考え方、役割などを加藤先生の貴重な経験談を踏まえながら学ぶことができました。



『ことのは』抄 第3回



～ 塩の話 I ～ 料理の味付けに塩は欠かせません。塩気のない料理は味気ないものです。塩は素材の中に溶け込み姿を隠し、素材を生かします。本当に「味な奴」。自己主張の喧しい世の中、塩の存方を、ちょっと考えてみませんか？

チャブレン（牧師）
堀之内豊



シャローム お花見会

3月31日に患者さんとご家族、職員、ボランティアスタッフと皆でお花見をしました♪
場所はシャローム病院のすぐ隣にある岩鼻運動公園です。暖かい春の陽射しの中、きれいな桜とおいしい桜餅やお団子を楽しみました。



シャローム病院の屋上庭園にも春が来ました♪

当院の屋上には花壇があり、ボランティアスタッフの方が花を植えたり、いつもきれいにお手入れをしてくれています。患者さんも職員も、四季折々の草花に癒されています♪
春になり、チューリップやパンジーなどカラフルな花がたくさん咲いて、屋上庭園がとても明るくなりました。



ボランティア募集中！

当院では、ボランティアを募集しています。活動内容は、屋上庭園のお手入れや外来受付補助、イベントのお手伝いなど様々です。ボランティアには以下の2種類があります。ご参加いただける方は、是非ご連絡ください。いずれも面談の上、研修を受けていただき、登録となります。

- ①定期活動に参加可能できるボランティア（長期）
- ②病院イベント時に協力できるボランティア（短期）



ご応募・お問合せ先：TEL 0493-25-2979 ボランティアコーディネーター 平田

『シャローム通信の歴史』

「シャローム通信」はシャローム病院が平成6年にシャローム鋤柄医院として開院した当初より発行しています。当時のシャローム通信を読んでもみると、スタッフの紹介や患者さんからのメッセージ、院長が日々感じたこと、感謝気持ちなどが綴られており、アットホームでとても温かい紙面です。途中発行をお休みしていた時期があり、2013年に復刊第1号が発行されました。その後、2015年秋号vol.2に続くのですが、開院当初の初回の発行から数えると、今号で通算13号となります。



昨年10月より、シャローム通信は年4回（1月・4月・7月・10月）発行することとなりました。これからも皆さんと「シャローム」シャローム鋤柄医院時代のシャローム通信をつなぐ広報誌を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お詫びと訂正



2016年1月に発行した前回の新春号にて、発行ナンバーの記載が誤っておりました。申し訳ございませんでした。【誤：vol.4 正：vol.3】
また、発行ナンバーにつきまして、今号より「通算〇号」という記載に変更し、開院当初から発行していたシャローム通信の発行も通算した数を記載してまいります。そのため今号は「通算13号」といたしました。

診療科目

内科・外科・消化器外科・肛門外科・皮膚科・乳腺外科・神経内科・循環器内科・緩和ケア内科・小児科
麻酔科・人工透析内科

その他：人間ドック・健康診断・乳がん検診・各種予防接種・胃カメラ・大腸カメラ・レントゲン・マンモグラフィ・CT・超音波検査・心電図・上部下部内視鏡・リハビリテーション科・透析センター 他

診療体制

内科・外科・消化器外科・肛門外科・・・常勤医師3名・非常勤医師4名 ※5月より5名
皮膚科・・・常勤医師1名 循環器内科・・・非常勤医師2名
乳腺外来・・・常勤医師1名 緩和ケア内科・・・常勤医師2名
神経内科・・・非常勤医師1名 小児科・・・常勤医師1名・非常勤医師1名

設備

談話室・研修室・多目的ホール・チャプレン室・家族宿泊室・医療福祉相談室・ボランティア室

訪問看護ステーション シャローム

【TEL】 0493-27-4105
【FAX】 0493-23-0035

介護支援事業所 シャローム

【TEL】 0493-25-3141
【FAX】 0493-23-0035

ヘルパーステーション シャローム

【TEL】 0493-27-5070
【FAX】 0493-23-0265

シャロームにつさい医院

【住所】 〒350-0258 埼玉県坂戸市
大字北峰 306 番地

【TEL】 049-280-7373

【FAX】 049-280-7374

【HP】 <http://shalorm.or.jp/nissai/index.html>

